

【2026 年 10 月 21 日】

送付枚数 本票含め 2 枚

報道機関 各位

山口大学人文学部 一般開放シンポジウム型集中講義 「人文ムセイオン 2026」

山口大学人文学部では、第 14 回ホームカミングデーにおいて、『人文ムセイオン 2026』を開催いたします。『人文ムセイオン』とは、共通テーマに沿って、人文学部の教員 4 人が研究発表を行い、その後、聴衆とディスカッションする「シンポジウム」形式の授業です。この授業は一般に開放されており、学生、教職員、卒業生だけでなくどなたでも参加できます。今年度（共通テーマは「家」）は既に登録者が 350 名を超えるなど、山口大学有数のアカデミック・イベントとなっています。一般市民や高校生のみならずには、人文学を学ぶたのしみ・よろこびを感じられる機会、また大学での最新の学びを体感する機会になると思います。

本シンポジウムの詳細は、別添のチラシを御覧いただきますと幸いです。

つきましては、取材および報道等について、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

また、取材を希望される場合は、10 月 22 日（木）までに、山口大学人文学部 学務係（TEL 083-933-5209、E-mail : hc134@yamaguchi-u.ac.jp）までご連絡をお願い申し上げます。

記

1. 日 時：2026 年 10 月 24 日（土）8：50～16：20（8：00 開場）
2. 場 所：山口大学吉田キャンパス 共通教育棟 1 番教室
3. 内 容：共通テーマ：「家 Home, House and Family」
開会の辞 竹中幸史（コーディネーター・山口大学人文学部西洋史学）
 1. 現代文学が問う家族のかたち—川上未映子『夏物語』を読む—
中元さおり（日本文学）
 2. 江戸時代における大名の家と「母」
石田俊（日本史学）
 3. 香月泰男の家族と古里—死んだら庭にいてお前たちを見守る—
藤川哲（美術史学）
 4. 社会調査データからみる家族における格差・困難
吉武理大（現代社会学）
4. 対 象：山口大学学生、教職員、卒業生および一般の方
5. 参加費：無料

【お問い合わせ先】

山口大学人文学部 学務係
TEL 083-933-5209
E-mail hc134@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学
総務部総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

人文ムセイオン2026

日時：10月24日（土）8時50分～

会場：山口大学共通教育1番教室

共通テーマ：「家 Home, House and Family」

人文学部の異なる分野の教員4名が、「家」を共通テーマに講義を行い、学生とディスカッションします。

学内外問わず聴講いただけますので、ふるってご参加ください。

※参加費無料

※事前申込が必要です

申込先：山口大学人文学部学務係

E-mail: hc134@yamaguchi-u.ac.jp

TEL: 083-933-5209

1. 現代文学が問う家族のかたち—川上未映子『夏物語』を読む—

中元 さおり（日本文学）

2. 江戸時代における大名の家と「母」

石田 俊（日本史学）

3. 香月泰男の家族と古里—死んだら庭にいてお前たちを見守る—

藤川 哲（美術史学）

4. 社会調査データからみる家族における格差・困難

吉武 理大（現代社会学）

ゲストコメンテーター

網島 亮（無機化学） 新沼 浩太郎（電波天文学）

コーディネーター

竹中 幸史（西洋史学） 小林 宏至（文化人類学）